

安全データシート

作成日 2022年 3月 11日
改訂日 2025年 4月 1日

1. 製品および会社情報

製品名	メクール コラーゲン・イン
品番	KM-501CS
コード	35-974
会社名	プラス株式会社
住所	〒105-0001 東京都港区虎ノ門4-1-28虎ノ門タワーズオフィス12階
担当部門	CSR本部 品質保証部
緊急連絡電話番号	03-5860-8005
FAX番号	03-5860-8013
E-Mail	env_psc@plus.co.jp
整理番号	G07D0120
推奨用途及び 使用上の制限	紙めくり用クリーム

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性

爆発物	: 区分に該当しない
可燃性ガス	: 区分に該当しない
可燃性エアゾール	: 区分に該当しない
酸化性ガス	: 区分に該当しない
高压ガス	: 区分に該当しない
引火性液体	: 区分に該当しない
可燃性固体	: 区分に該当しない
自己反応性化学品	: 区分に該当しない
自然発火性液体	: 区分に該当しない
自然発火性固体	: 区分に該当しない
自己発熱性化学品	: 区分に該当しない
水反応可燃性化学品	: 区分に該当しない
酸化性液体	: 区分に該当しない
酸化性固体	: 区分に該当しない
有機過酸化物	: 区分に該当しない
金属腐食性物質	: 分類できない
鈍性化爆発物	: 区分に該当しない

健康に対する有害性

急性毒性（経口）	: 分類できない
急性毒性（経皮）	: 分類できない
急性毒性（吸入：ガス）	: 分類できない
急性毒性（吸入：蒸気）	: 分類できない

急性毒性（吸入：粉じん）	: 分類できない
急性毒性（吸入：ミスト）	: 分類できない
皮膚腐食性・刺激性	: 分類できない
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	: 区分 2B
呼吸器感作性	: 分類できない
皮膚感作性	: 分類できない
生殖細胞変異原性	: 分類できない
発がん性	: 分類できない
生殖毒性	: 分類できない
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	: 分類できない
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	: 分類できない
誤えん有害性	: 分類できない
環境に対する有害性	
水生環境有害性 短期（急性）	: 分類できない
水生環境有害性 長期（慢性）	: 分類できない

ラベル要素

絵表示又はシンボル

なし

注意喚起語

警告

危険有害性情報

眼刺激

注意書き

【安全対策】

取扱い後はよく手を洗うこと。

【応急措置】

眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合は、医師の診断/手当てを受けること。

【保管】

なし

【廃棄】

なし

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区分 : 混合物

成分及び含有量

成分名	CAS No.	含有量 (wt%)	官報公示整理番号 (化審法・安衛法)
グリセリン	56-81-5	15~25	-

ソルビトール	50-70-4	10~20	-
ポリエチレングリコール	25322-68-3	1~5	-
1,5 ペンタンジオール	111-29-5	15~25	-
脂肪酸ナトリウム	-	3~5	-
植物性セラミド	-	≤0.1	-
コラーゲン	-	≤0.1	-
メチルパラベン	99-76-3	≤0.1	-
EDTA	139-33-3	≤1	-
色素（赤色）	3520-42-1	≤0.1	-
水	7732-18-5	残分	-

4. 応急措置

吸入した場合	: 気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。
皮膚に付着した場合	: 汚染された衣類を脱ぐこと。 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。 水と石鹸で洗うこと。 皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。
眼に入った場合	: 水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 直ちに医師に連絡すること。
飲み込んだ場合	: 口をすすぐこと。 気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。
予想される急性症状及び遅発性症状	: 吸入-咳、咽頭痛。 皮膚-発赤、痛み。 眼-発赤、痛み。 経口摂取-腹痛。
最も重要な兆候及び症状	: データなし
応急措置をする者の保護	: データなし
医師に対する特別注意事項	: データなし

5. 火災時の措置

適切な消火剤	: 泡消火剤、粉末消火剤、炭酸ガス、乾燥砂類
使ってはならない消火剤	: データなし
特有の危険有害性	: 火災時に刺激性、腐食性及び毒性のガスを発生するおそれがある。 燃焼すると分解し、有毒なヒュームを生じる可能性有。
特有の消火方法	: 危険でなければ火災区域から容器を移動する。 容器が熱に晒されているときは、移さない。 安全に対処できるならば着火源を除去すること。
消火を行う者の保護	: 適切な空気呼吸器、防護服（耐熱性）を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、 保護具および緊急措置	: 全ての着火源を取り除く。 直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。 関係者以外の立入りを禁止する。 密閉された場所に立入る前に換気する。
環境に対する注意事項	: 環境中に放出してはならない。
回収・中和	: 水などで湿らして飛散を抑制し、回収する。
封じ込め及び浄化方法・機材	: 危険でなければ漏れを止める。
二次災害の防止策	: 全ての発火源を速やかに取除く（近傍での喫煙、火花や火炎の禁止）。 排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策	: 「8. 暴露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
局所排気・全体換気	: 「8. 暴露防止及び保護措置」に記載の局所排気、全体換気を行う。
安全取扱注意事項	: この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。 取扱い後はよく手を洗うこと。 皮膚との接触を避けること。 眼に入れないこと。 環境への放出を避けること。

接触回避 : 「10. 安定性及び反応性」を参照。

保管

技術的対策	: 消防法の規制に従う。
保管条件	: 容器を密閉して冷乾所で保管すること。
混触危険物質	: 「10. 安定性及び反応性」を参照。
容器包装材料	: データなし

8. 暴露防止及び保護措置

管理濃度	: 未設定
許容濃度（ばく露限界値、 生物学的ばく露指標）	: 日本産衛学会（2007 年版）: 10mg/m ³ （グリセリンミスト） ACGIH（2007 年版） : 未設定
設備対策	: この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。 作業場には全体換気装置、局所排気装置を設定すること。
保護具	
呼吸用保護具	: 適切な呼吸器保護具を着用すること。
手の保護具	: 適切な保護手袋を着用すること。
眼の保護具	: 適切な眼の保護具を着用すること。
皮膚及び身体の保護具	: 適切な保護衣を着用すること。
衛生対策	: 取扱い後はよく手を洗うこと。 この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状態	: ワックス状
色	: 赤色
臭い	: わずかな特異臭
融点／凝固点	: 50～70℃
沸点、初留点及び沸騰範囲	: データなし
可燃性	: データなし
爆発下限界及び上限界、 可燃限界	: データなし
引火点	: 100℃以上
自然発火点	: 100℃以上
分解温度	: データなし
pH	: 9～11 (1%水溶液)
動粘性率	: データなし
溶解度	: 水に可溶/アルコールに可溶
n-オクタノール、 水分配係数	: データなし
蒸気圧	: データなし
密度及び／又は相対密度	: データなし
相対ガス密度 (空気 = 1)	: データなし
粒子特性	: データなし
その他の情報	: データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	: データなし
化学的安定性	: 法規制に従った保管及び取扱いにおいては安定と考えられる。
危険有害反応可能性	: データなし
避けるべき条件	: データなし
混触危険物質	: データなし
危険有害な分解生成物	: データなし

11. 有害性情報

急性毒性 (経口)	: データなし
急性毒性 (経皮)	: データなし
急性毒性 (吸入: ガス)	: データなし
急性毒性 (吸入: 蒸気)	: データなし
急性毒性 (吸入: 粉じん)	: データなし
皮膚腐食性・刺激性	: データなし
眼に対する重篤な損傷・	: 刺激あり (区分 2B)

刺激性

呼吸器感作性 : データなし

皮膚感作性 : データなし

生殖細胞変異原性 : データなし

発がん性 : データなし

生殖毒性 : データなし

特定標的臓器毒性 : データなし

(単回ばく露)

特定標的臓器毒性 : データなし

(反復ばく露)

誤えん有害性 : データなし

12. 環境影響情報

生態毒性 : データなし

残留性・分解性 : データなし

生体蓄積性 : データなし

土壌中の移動性 : データなし

オゾン層への有害性 : データなし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物 : 廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。
都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体が
その処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。

汚染容器及び包装 : 容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って
適正な処分を行う。
空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

国際規制

海上規制情報 : 該当しない

航空規制情報 : 該当しない

UN No. : 該当しない

国内規制

陸上規制情報 : 消防法に定められている運送方法に従う。

海上規制情報 : 船舶安全法に定められている運送方法に従う。

航空規制情報 : 航空法に定められている運送方法に従う。

特別安全対策 : 食品や飼料と一緒に輸送してはならない。
漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行うこと。
重量物を上積みしない。

緊急時応急措置指針番号 : 171

15. 適用法令

消防法	: 非該当
毒劇法	: 非該当
労働安全衛生法	: 非該当
化学物質排出把握管理促進法 (PRTR 法)	: 非該当

16. その他の情報

記載内容は安全にご使用頂く為の情報提供であって、保証するものではありません。

また、注意事項は通常の取扱を前提としたものなので、これらを参考にし、自らの責任において用途、用法に適した安全対策・適切な処置の実施をお願い致します。

※本書式は、JIS Z7253 : 2019 要求事項に準じて作成しております。